

# 薔薇便り

No.252

2023年 1・2・3月号



秋のばら展 ミニバラ展示

## 目次

年頭のご挨拶	1
事務局だより	2~3
秋のばら展の報告	4~5
九州ばらまつりの報告	6~7
ばら会と私	8
花庭訪問	9
横浜ばら紀行	10~11
新潟・長野ばら紀行	12~13
月々の手入れ	14~15
冬の休眠枝の挿し木	16
用土や資材について	17
編集後記	18



# 年頭のご挨拶

会長 前田 宜重



新年あけましておめでとうございます。  
会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

2022年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の影響で2年続けて総会・懇親会が中止となりましたが、会員の皆様、鶴屋様のお陰で春、秋のばら展を開催することができました。また、福島先生をはじめ会員有志によるばら教室も順調に進んでいるところです。

11月の秋バラの時期に日本有数のバラ園を19年ぶりに訪れました。当時より規模が大きくなり、施設も拡充していましたが、肝心のバラが悲慘な状況になっていました。私自身、公園のバラ園を運営していますが、毎年美しいバラを咲かせ続けることの難しさを痛感しています。

今年の秋のばら展は、残暑が厳しかったため花の時期を合わせるのが難しく出展数が集まらないのではないかと理事会でも心配していましたが、出展、運営に携わっていただいた会員の皆様お一人お一人のご尽力で熊本ばら会創立70周年の記念の年にふさわしい素晴らしいばら展となりました。

長い間、絶え間なく引き継がれている熊本ばら会の伝統は、これからも続いていくのだと確信しています。

未だに衰えないコロナウイルス感染症をはじめ、ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮、中国の脅威など世界を取り巻く状況は、私たちの日常は不安なものに覆われそうになるかもしれませんが、来年の春は美しいバラが咲いてくれます。

今年は、総会も開催予定で、バラ園見学ツアーも再開の予定です。昨年より正村事務局長が管理されている県民運動公園のバラ園や会員の皆様のお庭のバラたちも、来春は見事に咲き誇り地域を明るくしてくれることでしょう。

今年1年、皆様の息災とバラたちが元気に育ってくれることを願い年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 事務局だより



## 第6回ばら教室（接ぎ木教室、事前申込不要）

【日時】令和5年1月22日（日）13時30分～15時30分頃まで

【場所】熊本市動植物園「緑の相談所」2階 講習室

※植物園入り口から入らずに左の緑の相談所入口から入って2階です。

入園料は不要です。駐車場に駐車される方は駐車料200円が必要です。

### 【持参するもの】

- ① 作業用皮手袋
- ② 剪定バサミ  
（生け花用ハサミや植木鋏は不適です）
- ③ 接木用ナイフ  
（接ぎ木用が良いがカッターナイフ大でも代用可）



【参加費】 ¥500-

（台木・材料代として当日徴収します）

【その他】 台木・穂木の乾燥防止のため暖房を入れませんので

暖かい服装でおいで下さい。

接ぎ木資料は当日配付します。



### ●動植物園「緑の相談所」





## 冬の剪定教室（新入会員の方は是非ご参加ください）

【日時】令和5年1月22日（日）10時～12時頃まで

【場所】熊本市動植物園 バラ園

※植物園入り口（西門）から入って花の休憩所建物の東側にバラ園があります。

入園の際に熊本ばら会会員で剪定教室に来たと申し出て頂くと入園無料です。

入園後はバラ園以外を見て回られないようにお願いします。

駐車場に駐車される方は駐車料200円が必要です。

### 【持参するもの】

- ① 作業用皮手袋（トゲでケガをしないよう必ず持参してください）
- ② 剪定バサミ（生け花用ハサミは剪定には不適です）
- ③ 作業しやすい服装と靴で（トゲが引っかかっても大丈夫なもの）
- ④ 剪定用ノコギリを持っている方は持参ください



## 新年度行事計画

令和5年度の初めに計画しています行事をお知らせします。

■通常総会 令和5年4月2日（日）13時00分～14時00分

鶴屋東館9階 パレア会議室1

参加者にはバラ苗のプレゼントがあります。

■第1回ばら教室 通常総会終了後に行います。14時10分～15時30分頃

■春のばら展 令和5年5月5日（金）～7日（日）

■オープンガーデン（オープンガーデンガイドは次号会報に同封予定）

■春のばら園ツアー（詳細は別紙による）



## 第114回秋のばら展の報告



事務局

令和4年は熊本ばら会発足70周年になります。昭和27年にそれまであった「熊本バラ会」から分かれて発足した「熊本バラ同好会」が現在の熊本ばら会です。

昭和27年には鶴屋百貨店が開店しましたが、翌年の昭和28年6月26日の白川大水害で浸水被害を受け、昭和29年に増改築工事が完成しました。ばら展会場を探していた熊本バラ同好会は同年5月に第1回ばら展を鶴屋百貨店で開催させて頂きました。その後も鶴屋百貨店様のご支援を頂いて現在までばら展を開催させて頂いています。そして鶴屋百貨店様と同じく70周年を迎えることができました。

秋のばら展は70周年記念ばら展のタイトルで70周年のばらのディスプレイや今までの熊本ばら会の記録写真の展示を行いました。

70周年記念ばら展のタイトルで開催したばら展ですが、9月、10月の気温の変動で、花が咲き終わったり、開花が遅れたり、花がそろわないのか大変心配しました。鉢植え展示数の確認を担当した理事や切り花展示の確認をした理事は会員に電話を掛けまくって数をそろえるのに奔走しました。開催直前にも、切り花の不足に備えて肥後花市場に切り花を注文し、開催初日の早朝に理事が受け取りに行き運びました。

そのような中、鉢植えを自家用車で運んで頂いた会員や切り花を運んで頂いた会員、設営や撤収にお手伝い頂いた会員、フラワーアレンジを作って頂いた会員、展示や手伝いはできなくてもばら展に多くの方にご来場頂けるようにDMはがきをお配り頂いた会員、直接的、間接的に会員の皆様のご協力でご協力秋のばら展を無事に開催することができました。大変苦勞したばら展となりましたが、会員のご協力に言葉では言い尽くせないほど感謝しています。



秋のばら展が終わったところで鶴屋百貨店様には来年のばら展の日程を予定して頂いています。春は5月5日～7日、秋は11月3日～5日です。

秋の開催を11月にしたのは、10月上旬までは温暖化で夏があるため夏花のような花になってしまうからです。次回の秋のばら展に合わせた剪定日を決めるのは少し難しいかもしれませんので剪定日は熊本ばら会で検討してお知らせします。



# 九州ばらまつりの報告

事務局

10月29日に福岡市植物園で九州ばら懇話会の「九州ばらまつり」が開催されました。九州ばら懇話会には福岡バラ会、佐世保バラ会、佐賀バラ会、熊本ばら会が参加しています。九州ばらまつりは福岡バラ会の秋のばら展開催中に開催されます。

コンテストも行われており、佐藤前会長や深野顧問などコンテストで何度も入賞されています。今回は熊本ばら会からのコンテスト出品はありませんでしたが、技術指導部長の福島康宏さんが熊本ばら会を代表して盛り花を飾られました。

【入口の展示】



【会場の様子】

【熊本ばら会の盛花】



コンテスト出品の品種はフロリバンダやミニバラ以外は高芯剣弁咲きの品種です。  
出品には以下のような規定があります。

【HT】一花は、5枚葉が3枚以上(多い方が良い)花枝にあること。

二花、三花、五花の場合は5枚葉の規制はない。

一花の花枝の長さは花首から花器の口まで50cm以下とする。

二花、三花、五花の場合はその一番長い花枝に適用される。

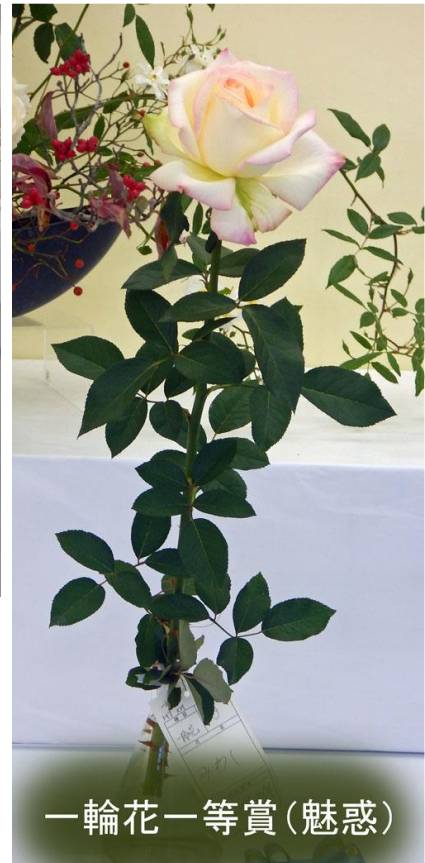
品種名が正確であること。

【FL】フロリバンダは一番長い花枝の花首から花器の口まで50cm以下とする。

ジョッキに3枝生ける。1枝に3輪以上見ごろの花があるのが望ましい。



コンテスト展示の様子



一輪花一等賞(魅惑)



五輪花一等賞  
(ミスターゴジマ)

■ 植物園のバラ園は  
見頃でした。





# ばら会と私

No. 37 滝澤 ふき子

ばら会に入会して10年になりました。  
私のバラ作りは、ピエール・ドゥ・ロンサールに出会った事から始まりました。  
今では大株になり、春には車庫の屋根の上で、たわわに咲きほこってくれます。  
散歩の方から、「綺麗ですネ、癒されます」と声をかけられると、嬉しくなります。  
バラも年を重ねるごとに増えて、【かおりかざり、コーヒー・オベーション、ダフネ】  
等々、地植えを合わせると120株になりました。中でもお気に入り、接木教室で学んだ、ミニバラのスタンダードです、毎年良く咲いてくれます。土作りから、剪定、病虫害の防除、施肥、日頃の手入れ、全てが育てる上で欠かせません。何の知識もなく、ただ、バラを咲かせたいという思いから入会したのですが、知れば知るほど、奥の深さを感じました。こうして、ばら教室では、沢山の事を学ばせて頂きました。



バラに囲まれたシンボルツリーの山法師



ミニチュアガーデン

冬になると、バラも木だけになって殺風景になってきます、ツルバラの下に、ミニチュアガーデンを作ってみました。モルタルで作ったミニチュアハウスを置き、廻りには背の低い草花を敷き詰めて、田舎の風景を思わせるような一角にしたのですが…雪でも降れば、雰囲気が出るのかなーと期待しつつ…

この10年を振り返ってみると、忘れられない思い出があります。  
それは2018年【九州山口ばら懇話会】熊本大会で、我が家がお庭拝見の会場になりました、こんな庭で大丈夫なんだろうかと心配でした。そこに私の心を見越したかのように、ばら会の会員の方が2人お手伝いに来て下さり、自分の事のように関わって頂きました。もうその時は感謝しかありませんでした。  
それから、第100回の春のばら展です。【フランスのばらと歴史を訪ねて】をテーマに、東館8階のエレベーターを降りると、正面に縦横2mの豪華なアーチ作りです。このアーチは、牛島さんのご指導のもとプロジェクトの一員としてお手伝い出来たことです。会場全体がフランスの風に包まれていました、憧れのバラのアーチを通るたびに、幸せな気分でした。ますますバラが好きになりました。ばら会の方を始め、バラを通して知り会えた方は、私の財産です。

これからもどうぞよろしくお願い致します。

# かていほうもん 花庭訪問

電車通りから少し入った閑静な住宅地。深まりゆく秋の日、ご近所でもひとときわ目を惹く、バラとバラとバラに囲まれた大森順子さんのお宅にお邪魔いたしました。

皆さんご存知の通り、この十数年春・秋のばら展を通して見事なバラをたくさん出品して頂いています。

ばら展では、大森さんの花の前で、感嘆の声を上げる方や、目を見張って覗き込んでいる方をたくさん見受けます。

そんな光景を目にし、私たち会員もとても嬉しく誇らしい気持ちになります。今日はどうしたら大森さんのバラに近づけるのか、ヒントを探してみましょ

う。現在、鉢の数は100鉢程との事。12月中に土・肥料・鉢・その他、鉢替えに必要なもの全て準備を終え、新年早々から鉢替えの作業に取り組まれるのだそうです。参考のため一鉢の分量をお聞きしました。

- ① 赤玉土小玉・中玉を混ぜたもの 植え込み土全体の3分の1
- ② バーミキュライト中玉以上 植え込み土全体の3分の1
- ③ 馬ふん堆肥・ソフトシリカ・マグアンプK・その他を混ぜたもの 植え込み土全体の3分の1
- ④ もみ殻燻炭 鉢底石の上に3cm位の厚さに敷き詰める
- ⑤ 鉢底石 大森さんの場合赤玉土大玉を3cm位の厚さに敷き詰める

※上記以外に準備する物 鉢底の大きさに切った網目の細かい防虫ネット（害虫がスリットの隙間から入り込んだり、土が隙間からこぼれ落ちないように）・ワイヤーフラワースタンド（水遣り時に水が鉢から流れ出るのを目視確認するため・鉢底と地面が直に接するのを防止するため）

\*\*\*植え替え時、鉢に入れる手順\*\*\*

防虫ネットを敷く⇒鉢底石⇒もみ殻燻炭⇒上記①+②+③を混ぜた土を半分⇒根を整理したバラ苗⇒上記①+②+③を混ぜた残りの土半分⇒植え込み終了後、ワイヤーフラワースタンドに鉢を載せる⇒最後に残りの微塵（細かい土）を洗い流すほどにたっぷりの水をジョウロでまんべんなくかける

※施肥は3月の芽吹きタイミングで始められるそうです



大森さん使用  
・スリット鉢  
・フラワースタンド

さあ皆さん、これで大森さんとスタートは同じになりました。

綺麗なバラが咲くことを期待しています。

随分前の話です。ある会員さんから質問がありました。

「これほど立派にバラを作られる大森さんは一日にどれだけの時間をバラと共に過ごされるのですか？」と。

ポイントはここ!? 土も肥料も消毒も大切ですが、バラと向き合う時間、バラに対する気持ち、それが何よりも大切なのかもしれません。

私たちもまずは、目の前の一本のバラから心を込めて育ててみましょ

文：やじ・きた



## 横浜ばら紀行



正村 正輝

8月28日から9月15日まで横浜市に仕事で出張しました。せっかく横浜まで来たので仕事が終わった14日に横浜市のばら園廻りをしました。花の無い時期でしたが良く手入れされたばら園を开花している様子を想像しながら見て回りました。

### ★山下公園「未来のバラ園」

山下公園は関東大震災のがれきを埋め立ててつくられた公園とのことです。氷川丸が係留保存されていて旅行で訪れた方もおられると思います。

ばら園は公園の中央あり、フランス式庭園を思わせるシンメトリカルな配置で花壇がつけられています。周囲より少し低くしたサンクガーデン（沈下庭園）となっています。2017年に開催された第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催に合わせて「未来のバラ園」が整備されたそうです。

訪れた時に手入れをされていたサカタのタネ・グリーンサービスの方にお話を伺いました。山下公園と港の見える丘公園の手入れを横浜市から請け負っているそうです。横浜市からは防除はゼロ回でお願いされているが、それは無理なので年間10回の防除を行っているとのことです。しかし10回では黒星病を完全に防げないので秋には黒星病が出ているとのことでした。また、ばらの手入れは横浜イングリッシュガーデンが下請業者として入っており、草花の手入れは別の下請け業者が入っているとのことでした。



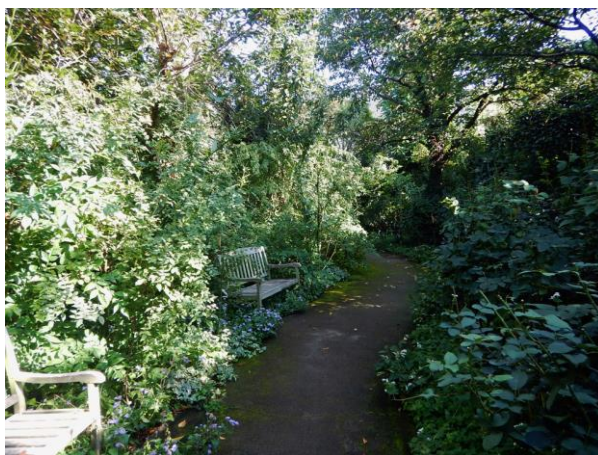
### ★港の見える丘公園

山下公園の近くの丘で、幕末に横浜が開港した際にイギリス軍とフランス軍が当地に駐留し、太平洋戦争後もアメリカ軍など進駐軍がこの地を接收したそうです。接收が解除になってから、横浜市が公園用地として手に入れて整備し、戦後にヒットした流行歌「港が見える丘」に因んで命名されたそうです。こちらも全国都市緑化よこはまフェアに合わせて2016年に「香りの庭」としてイングリッシュローズガーデンにリニューアルされています。こちらも良く手入れされていました。

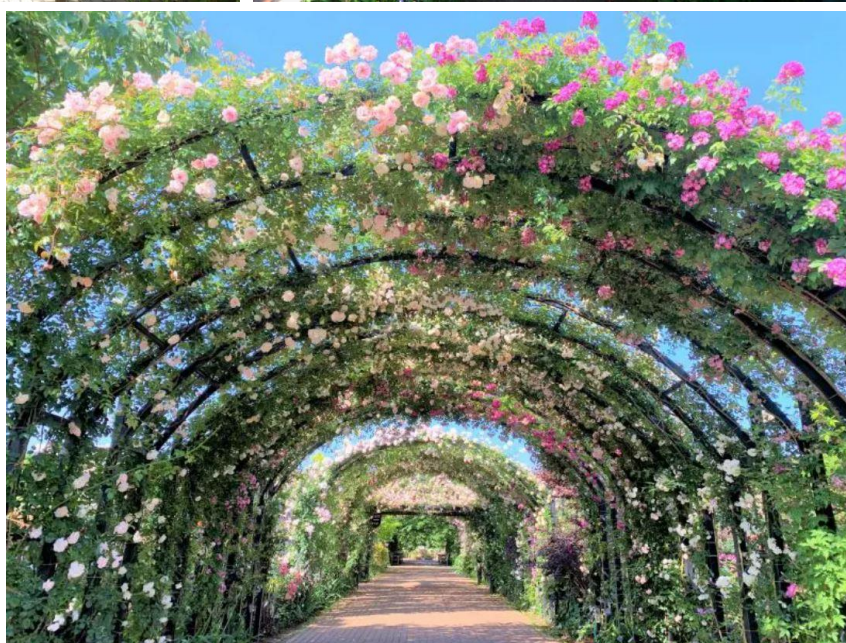


### ★横浜イングリッシュローズガーデン

野生種からオールド・ローズ、モダン・ローズと多岐に渡った 1800 品種を超えるバラが栽培されています。特に香り高い四季咲きのバラと多種の樹木や草花が植えられています。第 18 回世界バラ会連合会議にて、栄誉ある「世界バラ会連合優秀庭園賞」を受賞しています。



横浜イングリッシュローズ  
ガーデンのブログより  
5月の花の見頃の写真





## 新潟・長野ばら紀行



正村 正輝

10月3日から14日の日程で新潟県と長野県の県境にある百名山4座を登りました。登山遠征期間中ずっと天候不順で雨天が多くて山頂では雪にもなりました。余裕をもった日程にしていたので予備日や移動日にばら園などを廻りました。

### ★国営越後丘陵公園「香りのばら園」(新潟県長岡市)

国営事業の長岡ニュータウンの開発で大規模に山が開かれたが、交通が不便であったことやバブル崩壊などによりニュータウンが売れずに大部分が残り、救済策としてニュータウンにするための土地を国が都市公園として開発したそうです。

公園が出来た経緯は残念な感じですが、現在は340ヘクタールと広大な公園ですが、更に拡大して完成時には399ヘクタールになるとのことです。

公園に入ったところに香りをテーマにしたばら園があります。大きな芝生スペースや「花と緑の館」「暖の館」などの休憩施設やレストランもあります。

ここに訪れたのは3回目でしたが、今までで一番手入れが良くできているという感じを受けました。病害虫の害を受けた葉が一枚も見当たりませんでした。秋の花がきれいに咲いていました。つるバラやイングリッシュローズが沢山植えられているので、春の開花時期はそれこそすばらしいだろうと想像できました。



★蓼科高原 バラクラ イングリッシュガーデン（長野県茅野市）

開園したのは1990年の初夏です。約1ヘクタールに、オーナーであるケイ山田の統一デザインのもと、設計から石工、ガーデナーまで、庭園の全てを英国人専門家により創園されて、日本初の本格的英国式庭園として誕生したそうです。

当初、英国から移植した2,500本もの草花をはじめ、植えられた植物は造園デザインとともに美しく見事に成長しています。世界のイングリッシュガーデンの一つとして、蓼科バラクラは英国の権威ある専門書にも収められ、米国のテレビにも広く紹介されています。

バラクラとは「ばら色の暮らし」のことで、この庭から人と自然が共存する豊かな暮らしを感じて頂きたいとのこと。「ここはイングリッシュガーデンではばら園ではありません」と壁に掲示されていました。訪れた時は「バラクラの収穫祭ハーベストフェスティバル2022」の開催中でした。ダリアや秋の花が咲いていてばらの花は見かけませんでした。春にはオールドローズが咲いているのかなと思います。



★国営アルプスあづみの公園（長野県安曇野市）

「自然と文化に抱かれた 豊かな自由時間活動の実現」をテーマにして、2004年7月全国で16番目、甲信越地方では国営越後丘陵公園に次ぐ2番目の国営公園としてオープンしたそうです。公園は二箇所に分かれてありますが総面積は353ヘクタールと広大です。北アルプスの裾野に広がる自然豊かな公園で、花壇にはチューリップやヒマワリ、コスモスなど四季折々の花が咲き誇ります。また自然林風の園内にも四季折々の山野草が咲きます。残念ながらばら園はありませんでした。

自然豊かなところなので熊も出るそうです。清掃作業をされていた女性が腰に熊よけの鈴を付けられていました。





## 月々の手入れ



1月～3月の手入れを簡単にまとめました。  
詳細は配布しています「ばらの手入れ」でご確認ください。

### 【庭植え】

1月	2月	3月
<p>■土づくり 冬に大苗を植え付ける場所は早めに土づくりをします。 腐葉土や堆肥を土に混ぜ込みます。</p> <p>■大苗の植え付け 事前に土づくりをした植え床に植え付けます。 枝先が土で汚れたものは良い芽まで切り戻して枝枯れ病を予防します。 表土にはマルチング（敷きわら）をします。</p> <p>■冬の基肥 バラの生育が止まる頃は根を切断しても問題ないので、株の回りに腐葉土や堆肥、肥料を混ぜ込みます。全周ではなくとも周囲の4箇所～2箇所で良いでしょう。また周囲に撒いて表土に軽く混ぜ込んでかまいません。</p> <p>■つるバラの剪定・誘引 つるバラは芽が伸び始めてから枝の整理や剪定をすると芽を傷めるので、早めに枝の整理、剪定・誘引をします。</p> <p>■HT、FLなどの剪定 できれば剪定の前に不要な枝の間引き剪定を行います。</p>	<p>■HT、FLの本剪定 1月末から2月上旬に行います。古い幹は株元で切り取り、新しい幹に更新します。</p> <p>■冬の基肥 基肥を与えていないときは株の回りに腐葉土や堆肥、肥料を撒いて表土に混ぜ込みます。</p> <p>■病虫害防除 株元の浮いた皮は剥がして害虫の越冬などを防ぎます。 剪定後の切り口の殺菌や越冬する病虫害の防除には石灰硫黄合剤を枝や株元にジョウロで掛けるかハケで塗りつけます。 【注意】石灰硫黄合剤の500mLボトルは販売中止されています。JAや種苗店ではポリタンク入り販売されています。 18リットルで¥3,000程です。長期保存ができますので購入されても良いでしょう。</p> <p>■土づくり 春の新苗を植え付ける場所は早めに土づくりをします。 腐葉土や堆肥を土に混ぜ込みます。</p>	<p>■土づくり 春の新苗を植え付ける場所は早めに土づくりをします。</p> <p>■新芽の芽かき・切り戻し 3月下旬になると新芽が伸びてきます。芽が混み合っているところは脇芽を芽かきします。 枝の途中の芽が伸びて懐枝になる芽や混み合うところの芽もかき取ります。 また出開きといわれる葉が開いて芽が伸びていかない芽もかき取ります。 枝の先端の芽が伸びずに中間の芽が伸びている枝は芽が伸びているところまで切り戻します。</p> <p>■病虫害防除 3月下旬になると暖かいところでは新芽にアブラムシが発生することがあります。少なければ指先でつぶして駆除できますが、難しければ防除します。 病虫害防除は新芽の薬害防止のため通常の希釈濃度より2倍程度薄くします。</p>

## 【鉢植え】

1月	2月	3月
<p>■植え付け 購入苗を鉢植えする場合は根を洗って枯れた根を剪定して植え付けます。枝先は少し切り戻して枝枯れ病を予防します。</p> <p>■植え替え 鉢植えの用土を取り替えるため植え替えます。古い用土を落として新しい用土で植え替えます。植え替え時に剪定も済ませます。</p> <p>■病害虫防除 剪定後の切り口の殺菌や越冬する病害虫の防除には石灰硫黄合剤を枝や株元にハケ塗りします。株元の浮いた樹皮は剥がして害虫の越冬などを防ぎます。</p>	<p>■植え付け・植え替え 行っていないときは早めに行います。</p> <p>■病害虫防除 石灰硫黄合剤を使用する場合は芽が動き出さないうちに早めに行います。</p> <p>【注意】石灰硫黄合剤の500mLボトルは販売中止されています。JAや種苗店ではポリタンク入り販売されています。18リットルで¥3,000-程です。長期保存ができますので購入されてもよいでしょう。</p> <p>■水やり 土の乾き具合をみて水やりします</p>	<p>■施肥 3月になると根の伸びが良くなりますので少しずつ表土に緩効性肥料を置きます。</p> <p>■水やり 気温が上がってくると根の吸水量も増えてきますので土の乾き具合をみて日が昇って気温が高くなってから午前中に水やりします。</p> <p>■病害虫防除 庭植えと同様に防除します。天気の良い日に水やりする時は株全体にシャワーを掛けるとアブラムシなどの幼虫が流されて繁殖を抑制する効果があります。</p>

## 【繁殖・苗の手入れ】

1月	2月	3月
<p>■挿し木※ 冬の休眠枝の挿し木ができます。特にミニバラやオールドローズなど挿し木に向く品種が適しています。</p>	<p>■接ぎ木 1月末から2月上旬が切り接ぎの適期です。接ぎ木苗をポット植えて管理する際は凍り付かないところで管理します。</p> <p>■挿し木 2月上旬まで挿し木ができます。</p>	<p>■挿し木の植え替え 根より先に芽が伸び出します。3月下旬には根も伸びていますので、根の伸びを観察してポットに植え替えます。</p> <p>■接ぎ木の管理 暖かいところに置いていた苗を屋外に出すと寒さと乾燥で枯れることがあります。外気に徐々に慣らすようにします。</p>

※挿し木について次ページで説明します。



## ■冬の休眠枝の挿し木

正村 正輝

ばらの緑枝挿し木は5月下旬～7月、9月中旬～10月が適期ですが、1月～2月中旬に休眠枝の挿し木もできます。小生のやり方を紹介します。ミニバラやオールドローズなどは根付き易いと思います。

- 挿し木用土は肥料分が無いバーミキュライトと赤玉土の等量混合用土を使用します。3号ロングポットやプラ鉢に用土を入れます。
- 充実した枝を10センチ程度に剪定バサミで切り取り、挿す方の切り口はナイフできれいに切り直します。30分程度は水を吸わせませす。(発根促進剤添加)
- 発根促進剤のオキシベロン液剤を100倍に希釈して使用します。
- 用土に割箸などで開けた穴に挿し木し、かん水して用土を締めます。
- ポットを花苗かごに入れて、挿し木が乾燥しないように衣装ケースに入れます。
- 直射日光があたり暖房を入れない明るい屋内(縁側など)に置きます。
- 晴れた日中はケースの中の温度が上がって蒸れないようにフタを少し開けます。
- 用土が乾かないようにたまにかん水します。かん水は衣装ケースから出して行って衣装ケースに戻します。衣装ケースの中に水が溜まらないようにします。
- 根より芽が先に伸びますが、3月中旬頃には根も伸びてきます。日中は衣装ケースを直射日光が当たらない屋外に置き、フタを開ける広さを徐々に広げて外気に慣らしていきます。
- 3月下旬～4月上旬にポットに1株ずつ植え替えます。





# 用土や資材について



正村 正輝

冬の土づくりや接ぎ木で使用する資材と販売店をご紹介します。

## 1 用土

① 赤玉土 赤玉土の小粒はホームセンター・コメリの焼成赤玉土がおすすめ  
高温焼成なので無菌で清潔、多孔質で通気性や保水性が良い。

② バーミキュライト

ハンズマン、ナフコ、ダイキ、コメリなどホームセンターに置いてあるが、最近は品質が悪くなくて微粉末の物が多い。ホームセンターに行く度に確認していると、たまに粒が大きい物があるので、見つけたときにしておく。



③ 堆肥

基肥、植え床づくり、マルチングに使用する。

J A熊本うき健康土づくりセンターで作っているサンサン堆肥は40リットル入りで380円と安い。J Aグリーンセンター宇土やサンサンうきっ子下北店（富合町）に置いてある。J Aグリーンセンター宇土は土日も営業。



④ 腐葉土

ホームセンターで販売されている物はバークが混ざっている物が多い。腐葉土100%の物はJ A熊本花市場（国道3号線川尻バイパス）に置いてある。農薬や肥料、ピートモス、用土なども置いてある。

土日、第二火曜日は休み。平日14時までの営業



## 2 農薬

J Aグリーンセンター宇土（宇土市）、J A熊本花市場（川尻バイパス）、肥後花市場（南区田井島1丁目、ゆめタウンはません近く）コメリパワー宇土店、マツヲ種苗（菊陽町）、児籐商店（流通団地）J A熊本花市場と肥後花市場は土日休み。平日14時までの営業

## 3 接ぎ木テープ

福岡県八女市に本社を置く(株)アグリスの接ぎ木テープ「メデール」が良い。

幅は25ミリ、30ミリがあり、どちらも30m巻で7センチ毎にミシン目が入ったものとミシン目無しがある。接木に使用するのはいずれでも良い。

ハンズマン菊陽店や木村ガーデン（川尻駅近く）で販売されている。通販のAmazonや楽天でも購入できる。



## 編集後記

(正村)

新年あけましておめでとうございます。

九州ばらまつりの前日に、佐賀県と福岡県の県境にある金山(かなやま)に登って、全国旅行支援で鳥栖市に宿泊しました。鳥栖市は10年前に単身赴任していた場所で鳥栖駅前の中央公園の横に住んでいました。

中央公園にはバラの花壇があり、鳥栖バラ会が毎週手入れされていて、つるバラのベッド仕立てはすばらしいものでした。バラ園はどうなっているのか気になって見に行きましたら花壇には何も植えられていませんでした。良く手入れされたバラを期待していたのですがとても残念でした。鳥栖バラ会が無くなったのかもしれない。十年一昔と言いますが時の流れを感じさせる出来事でした。

何事も継続していくのは大変なことです。熊本ばら会は、歴代会長をはじめ役員や会員が歴史を繋いで70周年を迎えることができました。この歴史を終わらせること無く繋げていけたらと願っています。今後とも会員の皆様のご協力をお願い致します。



2008年5月 つるバラのベッド仕立て

毎年、会報の充実を考えているのですが、ページ数を増やすと印刷代が予算超過してしまい、ページ数を増やすことができませんでした。今回、モノクロ印刷に限り安い印刷所が見つかりましたので、ページ数を増やして、より多くの情報やばらに関する記事を掲載していくことができるようになりました。とは言え、掲載する情報や記事がなければ始まりません。会員の皆様からの情報提供を頂けますようお願い致します。

さて、本号の表紙は秋のばら展で展示されたミニバラです。小さなガラスの器に飾られたミニバラは、大輪のバラのような豪華さはありませんが、可憐でかわいらしいものです。以前から飾られていて恒例のミニバラのコーナーになっています。毎回飾って頂いている会員には感謝申し上げます。

最後に、今年目標を来年に繰り越さないように今年こそ頑張りますので宜しくお願い致します。

ばらだより 通巻252号 2023年1・2・3月号  
発行 熊本ばら会  
会長 前田 宜重  
事務局 正村 正輝  
会報担当 正村 正輝  
問合せ用Eメールアドレス

[info@kumamoto-rose-society.org](mailto:info@kumamoto-rose-society.org)

熊本ばら会ホームページ

<http://rose-society.life.coocan.jp/>

会員の部屋パスワード kumamon2022